

事業番号	10 03 07	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の木と住まいの総合対策事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	信州の木活用課県産材利用推進	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進			E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	H22 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 (ア) 地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	重点実施している間伐等の森林整備により生産された木材の出口対策として、住宅への確実な需要確保のために木造建築等に対する普及啓発を展示会を通して行う。来年度からは新たに、プロダクツデザイナーとのネットワークを構築し、信州カラマツ製品をはじめ、県産材製品を首都圏や中部圏に広める。また、県産材利用推進木造セミナーを開催し、建築士等への木造技術の理解度向上を図り、県産材住宅建設増加の足掛かりとする。			
現状 (予算編成時)	○森林整備により生産される木材の出口対策は、健全な森林を育成するために重要であるため、県産材の利用を推進するため需要者を対象とした積極的なPRが必要である。 ○県産材を扱っていなかった工務店がウッドマイスター講座に参加して県産材の住宅紹介し易くなったり、建築が増えた等の明らかな効果がある。 ○昨年度から一講座を建築士会の木造塾とタイアップして開催しており、受講者に好評を得ている。			
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 森林・林業基盤づくり交付金交付要綱		
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)			
	長野県森林づくりアクションプランの目標値 信州木材認証製品等出荷量 9千m ³ (H23)→20千m ³ (H27)→50千m ³ (H32)			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績	
			H28 (当初) H28 (決算) H29 (当初)	
	信州木の家県産材利用推進事業	補助金	県産材利用推進木造セミナーの開催及び展示会出展への補助、補助率 定額 10/10以内	1,400 1,400 2,500
	信州木の家県産材利用推進事業	補助金	首都圏の建築士等向けバスツアーの開催	0 1,200 0
			合計	1,400 2,600 2,500

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越		1,200		項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	1,400	1,400	2,500				目標	成果		達成状況
	補正予算				信州木材認証製品等出荷量	10千m ³	12千m ³	20千m ³	集計中 (10月)	集計中 (10月)	20千m ³
	合計(A)	1,400	2,600	2,500							
	一般財源		1,200	700							
	県債										
	国庫支出金										
	その他	1,400	1,400	1,800							
	決算額(B)	1,400	2,600								
概算職員数(人)	0.20	0.20	0.20								
概算人件費	1,655	1,583	1,583								
概算事業費(B(A)+C)	3,055	4,183	4,083								

目標に対する成果の状況	集計中
-------------	-----

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 住宅や中大規模建築物への県産材利用を推進し、安全・安心な県産材である信州木材認証製品を県内だけでなく、首都圏や中京圏をはじめとする建築士に知ってもらおうと同時に、使ってもらうことにより、出荷量増加を目指す。
--------------------	--